

① 考え方

3計画の統合により、ライフサイクルの中で、年齢や障がいの有無など、属性を問わず、より多くの市民のウェルビーイングの向上と福祉の充実を図る。



地域共生社会の実現

② 共通する課題

- ア 権利擁護
- イ 人材の確保・育成
- ウ 居場所と役割の創出
- エ 支援者の支援
- オ 持続可能なサービスの提供 など



大半の課題は分野・属性を問わない

③ 計画の方向性

- ア 施策の一体的推進（健康・生命、権利擁護、いきがい創出）
- イ 国の動向を反映
- ウ 計画を推進する進行管理体制の確立

総合福祉計画の体系（案）

すべての市民が人生100年時代に住み慣れた場所で自分らしく生活できるまち

児童期

青年期

壮年期

高齢期

障がいのある人

生活困窮

社会的孤立

認知症の人

1 生命・健康を守る

①生命と健康を支える 基盤を強化する

地域包括ケアの深化・推進
介護予防の推進
地域医療の確保
地域の支え合いネットワークの推進

②安心して暮らし続けることができる環境を整える

住宅の確保
移動・交通の確保
就労機会の確保
保育・教育の充実
「18歳の壁」の解消
ユニバーサルデザインの推進
防災力の強化
防犯力の強化
デジタル技術の活用促進
再犯の防止

2 本人を尊重する

③自己決定と尊厳を支える権利擁護を推進する

差別の解消
総合的な権利擁護の推進
当事者参加と相互理解の促進
終活の推進

3 いきがいを持てる

①包摂的な居場所を創出する

多様な社会参加の促進と居場所づくり

②協働と支え合いの関係性を構築する

生涯学習の推進
就労機会の確保（再）

4 体制を整える

① 持続可能な提供体制の確保

障がい福祉サービス
介護保険
生活保護

② 包括的支援体制の整備

アウトリーチ支援
多機関協働
重層的支援会議

③ 参加支援・地域づくりの推進

住民主体活動の取組みの強化
地区社協・ボランティア活動の推進

地域共生社会の実現に向けた福祉政策の総合的な推進